

戦時下幼稚園の任務

倉 橋 惣 三

今や此の大時局、我等は心身一ぱいの緊張に生きてゐる。國を思ふて一寸の餘裕もないのである。しかも、幼稚園にあつては、幼い子らに嬉戲笑談に餘念なく、その任をつくしてゐる。人は見て以て或は怪しむであらう。自分も亦斯くてよいのかと考へさせられたりする。しかし、愛すべき純眞の子らは、飛びついて來るのである。遊びを挑んで來るのである。殊にその溢るゝ如き笑顔を近く寄せて來るのである。輝く如き明朗さを以て誘ひに來るのである。今彼等が、何を我等に求めてゐるか。この子の爲に今一番與へなければならぬものは何か。我等は敢然として、その任務に生き、子さもらの間に、子さもらの如く活動してゐるのである。

戦時下、小さき子らを顧るの暇ないさいふこさも、確に免れ難いほごの、時の厳しさである。しかし、この時にも、否、この時にこそ、小さき子らを、満心のなごやかさを以て守るものが誰れか無ければならぬ。その小さき子なるが故に、而して、實は小さきものにあらざるが故に。

國榮えんとして、子さもらの貴さを思ふ。國盛ならんとして、子さもらの大切さを思ふ。この時こそ、幼きものを重視しなければならぬ時である。この時こそ、幼きものを愛育せねばならぬ時である。我等に今託せられてゐるのは、この重責である。託せられずとも、自ら進んでその任に任せざるならぬのが、この必須の任務である。

難いかな、笑つて此の重責に當る。難いかな、胸の張りを抑へて此の樂園の人となる。ゆめゆめ、これは有閑事でない。さら／＼これは行樂の場でない。緊急必須の事である。専念國に奉仕するの努力である。

戦場に赴かるゝ父達、乞ふ安んぜられよ。卿の愛兒はわれらが守つてゐる。銃後公事に劇忙なる母達、乞ふ安んぜられよ。お子さんの幸福はわれらが代つて守つてゐる。

それにしても全國の保姆諸君。今やあなた方の保育報國の任は平時の比でない。あなた方は、その園の保姆として、又、國家の保姆として團結一致して、その任務の國家的意義に自重しなければならぬ。